

部局紹介



我々の所属である「危機管理防災部」について、ご説明します。

部局紹介

危機管理防災部

県民の皆さまの安心・安全を守ることを使命としています。危機や災害からの被害を少しでも減らすため、市町村、消防、警察、自衛隊等の公的機関や鉄道、電気、ガスといったライフライン事業者との連携を強化し、また、さまざまな訓練を実施しています。



構成課所

危機管理課 消防課 災害対策課 化学保安課
消防学校 防災航空センター

職員数が多い職種

- ・一般行政／一般事務
- ・技術職／設備・化学

主な業務

- 県の危機管理の総合的な調整に関する事項
- 消防及び防災に関する事項
- 高圧ガス等の取締りに関する事項

などを行っています！

埼玉県が行っている防災力向上の取組ご存知ですか？

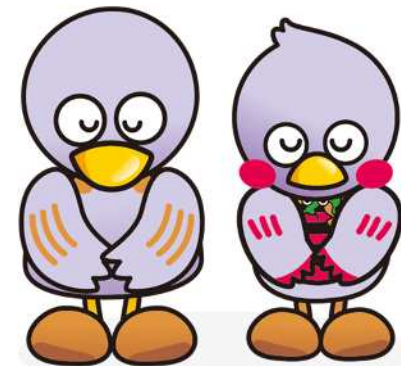
～自助・共助・公助について～



埼玉県 危機管理防災部 危機管理課
令和6年12月17日（火）

0. 目次

1. 防災対策の考え方
2. 危機管理課の業務
3. 苦勞したこと
4. 必要な能力
5. 目標とする埼玉県像
6. 結びに



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

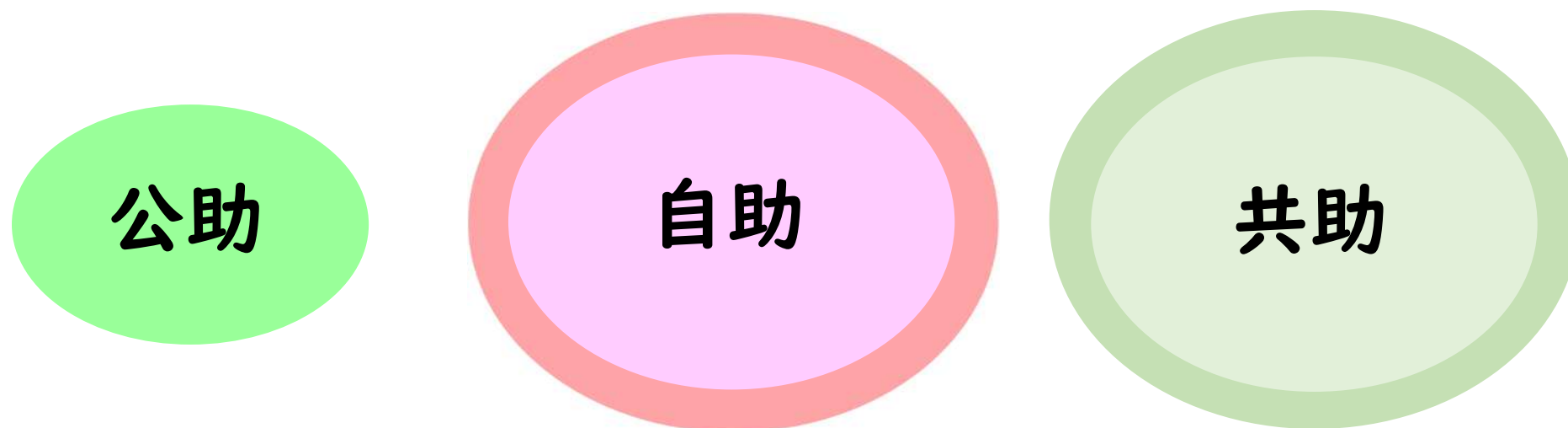
1. 防災対策の考え方



防災対策の考え方についてご説明します。

1. 防災対策の考え方

【公助、自助、共助】



公助：行政や公的機関による救助（国、県、市町村、警察、消防、自衛隊…）

自助：自分の身は自分で守る（家具の固定、水・食料の備蓄、災害用伝言サービス…）

共助：地域のことは地域で守る（自主防災組織、コミュニティ…）

1. 防災対策の考え方

【自助、共助】

なぜ自助・共助が大切なのか

阪神・淡路大震災では被災者が30万人以上いました。
(内、死者6,434人 負傷者4万人以上)

地震当日の救助隊(自衛隊・消防庁救助隊)は約何人だったでしょうか。

※被災者…災害をかぶった人。死者や負傷者、避難所に避難した人等

1

1万人

2

5万人

3

10万人

4

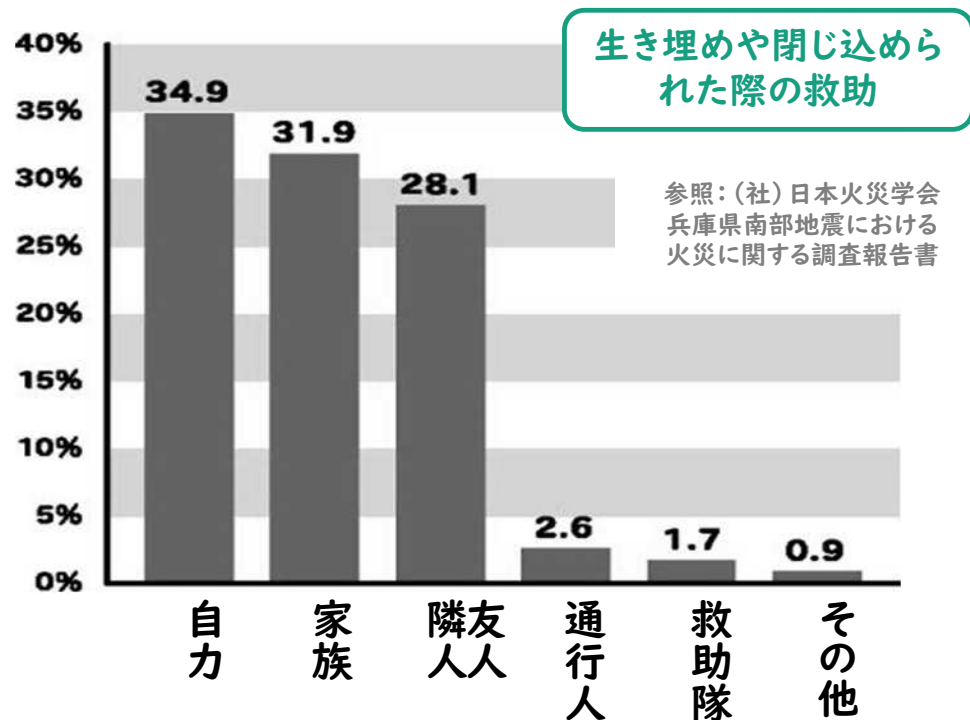
15万人

1. 防災対策の考え方

【自助、共助】

正解は、**1** 1万人

公助だけでは、全員を救助することはできない。



▶ 公助には限りがある

救助以外の助け（生活必需品、ライフライン等）も「すぐに」「十分には」来ない。

▶ 自分で備える（自助）
周りと助け合う（共助）

2. 危機管理課の業務



我々、危機管理課が担当する業務について、ご説明します。

2. 危機管理課の業務

(1) 自助(イツモ防災)について



あなたのイツモが
モシモを変える。

災害への備えを普段の生活の中で取り組んでもらう
「イツモ防災事業」を、平成27年度から実施。

【イツモ防災】

日本で暮らすということは地震とともに生きていくということ。だからこそ、地震への備えを「特別なこと(モシモ)」としてではなく、「イツモ」の生活の中で、自然体で当たり前のこととして取り組むことが重要。

埼玉県では3つの自助の取組を推進。

2. 危機管理課の業務

(1) 自助(イツモ防災)について

【3つの自助】



©NPO法人プラス・アーツ+文平銀座

イツモ防災では、主に「家具の固定」「3日分以上の水・食料の備蓄」「災害用伝言サービスの体験」の「**3つの自助**」について普及啓発を図れるよう、教材や啓発物の提供や講師の育成を実施。

市町村や消防等が主体となって普及啓発の場を設けることができるよう講師を派遣することで支援。

埼玉県

教材・啓発物の提供

取組事例の紹介

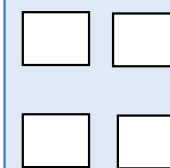
市町村訪問

講師の育成及び派遣



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

支援



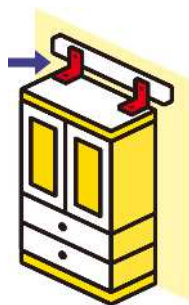
市町村、
消防等

2. 危機管理課の業務

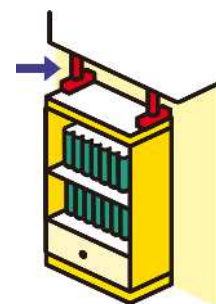
(1) 自助(イツモ防災)について

【家具の固定】

L型金具



ポール式器具(つっぱり棒)



©NPO法人プラス・アーツ+文平銀座

他の 対策方法

- ・軽いものは上に、重いものは下に置く=**家具の重心を下げる**。
 - ・ガラス製品など、危険なものは家具の上に置かないようにする。
 - ・寝る位置に家具が倒れてこないように家具の配置を工夫する。
- 他にも…**電化製品(冷蔵庫、テレビ等)**の防災対策も忘れずに。

ガラスの飛散防止対策

- ・飛散防止対策済のガラスに交換
- ・昼間は薄いレース、夜間はカーテンを引く
- ・家具が倒れても窓ガラスに当たらないように家具を配置

2. 危機管理課の業務

(1) 自助(イツモ防災)について

【3日以上の水・食料の備蓄】

●飲料水の備蓄量

1日1人3リットル、最低3日分、できれば7日分を用意しておく

●食料の備蓄

▶ 傷みやすいものから食べよう

1～3日目

冷蔵庫・冷凍庫にあるものを食べる。

4～7日目

備蓄した**非常食**を食べる。

ローリングストック法

- ①備蓄する食料・水を少し多めに用意する
- ②定期的に古いものから順に食べる。
- ③食べた分を買い足し補充する。

2. 危機管理課の業務

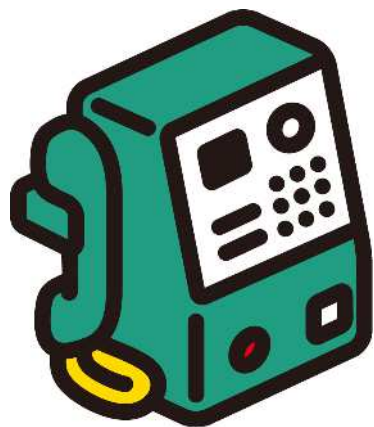
(1) 自助(イツモ防災)について

【災害用伝言サービスの体験】

災害時、被災地への通信が増加し電話がつながりにくい状況になった場合に提供される、声の伝言掲示板

使い方を一度体験しておこう

- ・毎月1日、15日
- ・1月1日～3日
- ・防災週間(8月30日～9月5日)
- ・防災とボランティア週間(1月15日～1月21日)



災害用伝言ダイヤル「171」

登録可能番号

→すべての電話番号

固定電話は被災地域の市外局番に限る



災害用伝言版 (web171)

登録可能番号

→すべての電話番号



災害用伝言版 (携帯電話・スマホ)

登録可能番号

→携帯の電話番号

©NPO法人プラス
・アーツ+文平銀座

2. 危機管理課の業務

(1) 自助(イツモ防災)について

【講師の育成・派遣】

地域防災力の強化を目的として、市町村等が実施する防災講座や研修に県が認定した**インストラクター**の育成や派遣することにより、自助の取組促進を支援する。

インストラクター人数:467人(令和6年10月1日時点)

テーマ

・イツモ防災講座

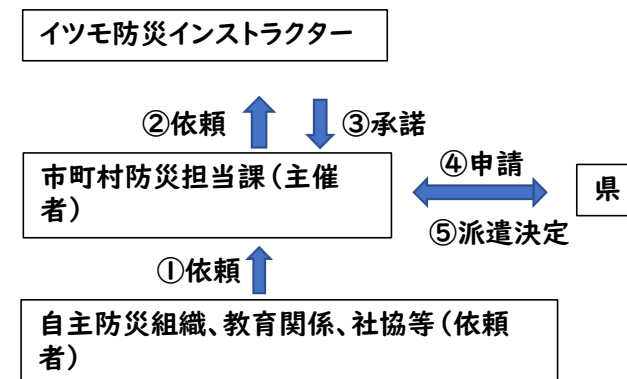
首都直下地震の基礎知識のほか、日頃から家庭でできる備えの具体的な取組方法を知ることができる講座

・イツモ防災ワークショップ

命を守る3つの自助をテーマとした体験型ブース

※イツモ防災ワークショップに必要なキット等一部のグッズについては、県からも貸出している。

派遣申請の流れ



2. 危機管理課の業務

(1) 自助(イツモ防災)について

【イツモ防災ワークショップ】

- ・家具転倒防止ワークショップ
- ・災害時の連絡方法
High&Lowクイズ
- ・連絡方法ぴったんこクイズ
- ・災害時の伝言○×クイズ
- ・サバイバルキッチン
- ・家具転倒防止まちがいさがし
- ・災害時の食べ物
どうするクイズ
- ・紙食器づくり



- ・防災グッズ暗記クイズ
- ・できなくなることクイズ
- ・知恵と工夫クイズ
- ・ジャッキアップゲーム
- ・水消火器で的あてゲーム
- ・対決!バケツリレー
- ・毛布で担架タイムトライアル
- ・防災カードゲーム
「なまずの学校」



2. 危機管理課の業務

(1) 自助(イツモ防災)について

【啓発物・教材】

事業講座用教材、効果的なデザインの防災マニュアルブック、PRイベント用啓発道具を提供



チラシ



パネル

家具転倒防止
ワークショップ



マニュアルブックは5種類

- ・命を守る3つの自助編
- ・家庭における災害時のトイレ対策編
- ・風水害・土砂災害編
- ・自宅サバイバル編
- ・地震時の行動編



2. 危機管理課の業務

(1) 自助(イツモ防災)について

【イベント】

イツモ防災の取組を広めるために、県等のイベントにおいて
イツモ防災のブース出展を実施している。

令和5年度防災キャンプ
(大宮公園)



令和5年度
ぼうさいこくたい



2. 危機管理課の業務

(1) 自助(イツモ防災)について

【携帯トイレの普及について】

大きな災害時には、上下水道が止まった場合、トイレが使用できなくなる。トイレが使用できないことは、健康や衛生環境に問題が生じる可能性があるため、トイレ空間が安全で便器が使用可能であれば、**携帯トイレ**を使用していきたい。

埼玉県HP防災マニュアルブック 【家庭における災害時のトイレ対策編】

携帯トイレを備蓄、使用してみよう！

災害時、上下水道や下水道が止まった時に、一番困るのが「トイレ」です。令和6年1月に発生した能登半島地震においても、トイレ問題が発生しました。ただし、水が使用できない状況でも、トイレ空間が安全で便器が利用可能であれば、携帯トイレが使用できます。

「モシモ」に備えて、携帯トイレを備蓄しておきましょう。(ここでのトイレは、洋式トイレを想定しています)

Q1.携帯トイレってどういうもの？

A1.便袋(し尿をためる袋)と凝固剤などが1つのセットになっているものです。便袋に吸収シートがあるタイプや粉末状・錠剤の凝固剤で水分を安定化させるタイプ等があります。

Q2.金額は？

A2.携帯トイレは一つ70円台～300円台まであります。

Q3.どこで売っているの？

A3.ドラッグストア、ホームセンターなどで販売されています。(すべての店舗に在庫があるとは限りません) また、オンラインショップでも購入が可能です。



先日行われた埼玉フェア(イオン)でも
携帯トイレの普及啓発を行いました 

2. 危機管理課の業務

(2) 共助（ミンナ防災）について

【講師の育成・派遣】

いつも防災と同様に、地域防災力の強化を目的として、市町村等が実施する防災講座や各種研修に、県が認定した**自主防災組織リーダー養成指導員**の育成や派遣により、共助の取組促進を支援する事業



©NPO法人プラス・アーツ+文平銀座

・災害図上訓練（DIG）

災害発生時をイメージして、地域の危ない場所や利用できる物などを、地図に書き込みマップを作成

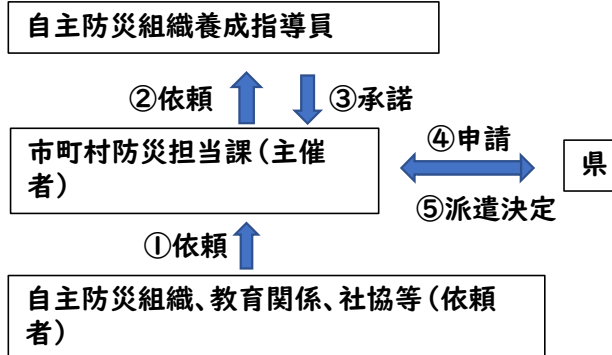
・避難所運営ゲーム（HUG）

避難所運営を疑似体験するゲーム

・災害クロスロードゲーム

災害時の問題にYES／NOで回答し、グループ内で話し合い他の人の意見を聞く

派遣申請の流れ



2. 危機管理課の業務

(2) 共助（ミンナ防災）について

【地域防災活動活性化事業補助金】

市町村の地域防災に係る取組を財政支援することにより、**自主防災組織の活動活性化**を図ることを主な目的とする。

補助メニュー	率	上限	令和5年度活用例・補助対象経費
・若い世代を対象とする講座・訓練等の実施に要する費用	1/2	30千円	防災フェアや防災展での親子向けブースの出展 親子防災オンライン教室
・地区防災計画策定支援に要する費用 （例）地区防災計画に関する研修開催、 策定作業に要する物品費など	1/2	120千円	地区防災計画策定に向けた自主防災組織向け研修会、 講師派遣
・防災資機材を使用した訓練・研修等の実施に関する費用	1/2	65千円	防災資機材を使用した自主防災組織の訓練・研修等の 実施支援に関する事業
・防災士や自治体独自の防災資格等の取得促進に係る費用 （例）資格取得講習会の実施費用、受験補助費用など	1/3	100千円	防災士資格の取得費用の助成 防災士フォローアップ研修 市町村独自の防災資格認定事業 地域防災リーダー研修会
・地域防災の新たな取組に要する費用（新）	1/2	100千円	※

※地域防災における新たな課題に対する市町村の取組を促進するため、これらの解決に向けた市町村の取組を対象

2. 危機管理課の業務

(3) 公助（埼玉版FEMA）について

【概要】

危機管理対応の強化を目的として知事選で公約に掲げられ
2019年8月の大野知事就任時から注力している取組

「埼玉版FEMA」とは、平時からシナリオ作成や図上訓練を
繰り返すことによって、関係機関との強固な連結を推進し、
県全体の危機・災害対応力の強化を図るものです。

2. 危機管理課の業務

(3) 公助(埼玉版FEMA)について

【訓練写真】

訓練は「風水害」「地震」「大雪」などの自然災害だけでなく
「国民保護」など多岐にわたるテーマで実施



2. 危機管理課の業務

(3) 公助（業務継続計画）について

【概要】

大規模災害が発生！

→ 県職員や県庁自体も被災し、業務継続資源にも大きな被害が発生

but 行政は、迅速かつ的確に**県民の生命、生活及び財産を保護**する責務

① **行政機能**に関する業務（方針決定、情報発信）

② **被災地域への対応**に関する業務（応急対策、インフラ復旧）

③ **県民の生活基盤の維持**に関する業務（公共サービスの維持）

⇒ 取り組む業務を予め「**非常時優先業務**」として選定

2. 危機管理課の業務

(3) 公助（業務継続計画）について

【各種制度】

①危機管理・防災予備員制度

大規模災害時、危機管理防災部のOB職員を危機管理体制に組み込む

⇒ **即戦力**として活躍

②市町村情報連絡員制度

市町村庁舎近隣に居住する職員を63全ての市町村で指定

勤務時間外の災害発生時に、市町村庁舎で被害情報を収集し県へ報告

⇒ **初動期の情報収集**に活躍

2. 危機管理課の業務

(4) その他

【能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター】

災害への備えを楽しく学べる施設

展示コーナー・防災クイズコーナーのほか



最大震度7の
地震体験ができる！



さまざまな企画展を
実施！



土曜日・日曜日
いろんなイベントやってます！



ホームページはこちらから

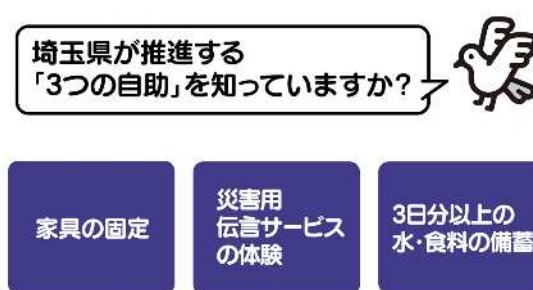


所在地 埼玉県鴻巣市袋30
開館時間 9:00~16:30 (入館16:00まで)
休館日 毎週月曜日(祝日開館・翌日休館)
入館料 無料

2. 危機管理課の業務

(4) その他

【YouTube「そなーえ」チャンネル】



埼玉県防災学習センターの公式Youtubeチャンネル
若い世代にも見てもらいやすいよう、アニメ形式の動画も配信中

日頃の備えや、災害時に役立つ情報、いつも防災・ミナナ防災の動画を作成し、順次公開



YouTube「そなーえチャンネル」はこちらから

2. 危機管理課の業務

(4) その他

【防災キャンプ】



報道関係各位

立教大学
PRESS RELEASE

2024年7月31日

8/3、学生視点による「防災イベント」を立教大新座キャンパス(埼玉・新座)で初開催!

立教大学(東京都豊島区、総長:西原康太)は埼玉県(知事:大野元裕)が主催する「防災×アウトドア×大学」を8/3(土)、新座キャンパス(埼玉県新座市)にて初めて開催します。これは2023年11月、同県に所在する私立大学として初めて実施した埼玉県知事への政策提言(意見交換会)において、原田嶋ココミュニティ福祉学部准教授のゼミが提言した内容を具現化するものです。アウトドアキャンプという非日常と防災を結び、若い世代の防災・減災意識の喚起を目的としています。立教大学はキャンパスの防災、減災に取り組んでおり、学生・教職員、地域社会と協働した学びの場として、同県と初めてとなる防災イベントを共同開催します。

【防災イベントの概要】

名称:「防災×アウトドア×大学」
日時:2024年8月3日(土)11時~16時
場所:立教大学新座キャンパス
埼玉県新座市北野1-2-26
主催:埼玉県(危機管理防災部危機管理課)
協力:立教大学、新座市、新座消防署、(株)モンベル、
(公財)味の素ファンデーション、等
※新座市、志木市等の在住者、立教大生等で事前申込のあった約50名(定員:50名)が参加

取材をご希望の場合には、下記の問い合わせ先まで事前にご連絡をお願いいたします。

<本件に関するお問い合わせ>
立教大学総長室広報課(担当:藤野)
Email: koho@rikkyo.ac.jp TEL: 03-3985-2202

立教大学HPより引用

www.rikkyo.ac.jp/news/2024/07/mknpps000002vm7b.html

事前申込・先着50人 参加費無料 自由研究のヒントにも!

立教大学に行こう! 高めよう新座の防災力!

防災×アウトドア×大学

2024.8.3 Sat 11:00~16:00 (昼食は防災食の実食)

立教大学新座キャンパス (駐車場はありません)

■お申し込み
【締切】7月22日(月)
【方法】右のフォーム
定員に達した場合、
申込を締め切ります

対象:新座市民・立教大学学生
年齢不問! 家族も、個人もOK!

<こんな人にオススメ>
・どう防災すればいいかわからない
・アウトドアを防災に生かしたい!
・自分の防災力をチェックしたい!

体験内容の
動画配信
(順次)

起震車体験 煙体験 消火体験

プレゼント
もご用意!
(裏面)

防災クイズ アウトドアグッズ紹介 防災食の実食

主催:埼玉県(危機管理防災部危機管理課(お問い合わせ先は裏面))
協力:立教大学、同コミュニティ政策学科原田嶋ゼミ、株式会社モンベル
新座市、新座消防署、埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)
公益財団法人味の素ファンデーション、食べる支援プロジェクト

【タイムスケジュール(予定)】

当日の天候等によりスケジュールを変更する場合があります

時間	内容
11時00分	起震車体験 アウトドアグッズ展示・紹介
12時30分	防災食の実食 災害時の食事に関する講話 \ 備えない防災のヒント/
14時00分	防災スタンプラリー 消火体験・煙体験 避難所備品の展示・体験 \ 避難所のトイレも紹介/ 防災クイズ \ ジェンダーの視点も/
16時00分	サバイバルキット・立教グッズ配布



↑当日配布されるサバイバル
キットはこちら!



↑立教グッズはエコバッグ、
もしくはクリアファイルをラ
ンダムで配布いたします!

お問
い合
わせ

埼玉県 危機管理課 企画担当
受付時間: 月曜日~金曜日 8:30~17:15
TEL: 048-830-8316 Email: a3115-09@pref.saitama.lg.jp

2. 危機管理課の業務

(4) その他

【防災キャンプ】

参考：埼玉県HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/seisakuteigen/rikkyo/reiwa5.html>

【1班】 あったか、ホッCAMP！～防災×アウトドア×大学～

アウトドアに興味がある若者に、普段は体験できない大学でのキャンプを通じて間接的に防災に対する学びの機会を提供する。県や地域の大学、キャンプ用品メーカーなど民間企業とも連携し、非常時のスムーズな活動にもつなげていく。

【知事からのコメント・意見交換】

（知事）キャンプや食事を、例えば立教大学のキャンパスで実施する場合、どのぐらいの参加者数を想定しているか。

（学生）人数が多くなってしまうと運営が困難になってしまうので、第1回目の実施段階では参加者は50名程度にして、成功していったら参加者を増やすことや、立教以外の埼玉県内の他の大学にも広めていければと考えている。



2. 危機管理課の業務

(4) その他

【防災キャンプ】

避難所体験



協力：新座市・立教大学原田峻ゼミ

煙体験



協力：新座消防署・立教大学原田峻ゼミ

消火体験



↑ ガスバーナーで本物の火が出る

2. 危機管理課の業務

(4) その他

【防災キャンプ】



協力：埼玉県防災学習センター



協力：株式会社モンベル



企画・運営：立教大学原田峻ゼミ



協力：新座市（アルファ化米とクラッカーを提供いただいた）
イベント開始時に参加者自ら水でアルファ化米を調理
＋カレー・ハンバーグ・焼き鳥の中から参加者が1品選択



協力：食べる支援プロジェクト

3. 苦勞したこと



業務を行う中での苦勞について、ご説明します。

3. 苦勞したこと

苦勞したこと

訓練の企画



医療機関と連携した
訓練ができないか

林野火災をテーマに
訓練ができないか

福祉機関と連携した
訓練ができないか



3. 苦勞したこと

苦勞したこと

調整業務



訓練参加
の交渉



会議等の
日程調整



状況付与
の作成



3. 苦勞したこと

苦勞したこと

長期間に渡る準備



4. 必要な能力



業務に必要な能力について、ご説明します。

4. 必要な能力①

必要な能力

企画・調整能力



積極的な情報収集と
相手の立場でメリット・デメリットを考える姿勢。

4. 必要な能力②

必要な能力

法令解釈能力



県や各機関の役割などを確認する際、根拠を求める。

4. 必要な能力③

必要な能力

資料・文書作成能力



得られた情報を整理して、わかりやすくアウトプット。

4. 必要な能力④

必要な能力

積極性



様々なことに関心を持ち、積極的に業務にあたる。

5.目標とする埼玉県像



危機管理課の業務を通じて目指す埼玉県について、ご説明します。

5. 目標とする埼玉県像

安心・安全な埼玉県



6.結びに



覚えておいてほしい言葉と啓発です。

——危機管理の要諦は

想像力と準備である



6. 結びに

ご清聴ありがとうございました！

